

科目名: 金融商品とリスク		科目コード	EK05
科目主査: 齊藤 聡		担当講師: 齊藤 聡	単位
			2
		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	カマ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要
<p>金融商品はその仕組みが複雑になり、そのリスク度合いが判定しづらくなっている。リスクが巧妙に隠されていることさえあります。人生100年時代を迎え、リスクを理解しながら資産のポートフォリオを考える必要があります。本科目の目的は、難しい数式を使うことなく、金融商品のリスクを分かりやすく解説し、投資家自身の力で、金融商品のリスクを見抜き、資産運用能力を身に付けることにあります。社会人として必要な金融知識を体系的に学び、手数料、税金面を含めて金融商品のリスクを理解することを目標とします。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、重要点や分からない点・理解に自信のない点についてマーキングし、質問ができるようしておきましょう。		
テキスト	『はじめての人にもわかる 金融商品の解剖図巻』吉澤 大,かんき出版,2018年 『金融商品ガイドブック 2019年度版』原 佳奈子,金融財政事情研究会,2019年		
この科目の到達目標	<p>①証券会社や銀行で販売されている金融商品の仕組みを知り、そのリスクを判定でき、勧誘された金融商品のリスクを見分けることができる。</p> <p>②低金利の時代には特出した利回りの金融商品が存在しないことを理解し、甘い話にだまされない能力を身に付けて、金融商品のリスクを解説することができる。</p>		
成績評価の方法	授業態度を重視し、授業時間中の集中度合いを評価対象とします。また、休み時間後の遅刻は、減点の対象とします。授業をきちんと聞き、重要な点はノートにまとめてください。		
事後学習	証券会社や銀行の金融商品のパンフレットを取り寄せて、現行商品のリスクを見抜く学習が有効です。		
事後学習の参考文献	テキスト巻末に掲載されている参考文献なども、あわせて読んでみましょう。		
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> ノート			